

問題7

正解 2 ●—リハビリテーション

重要度 ★★

●リハビリテーションの理念と目的、及び種類と方法を確認しておくこと。

教科書(共) CHAPTER 1・SECTION 6

- × リハビリテーションという言葉の語源からみると、「再び (re)」「適した、ふさわしい (habilis)」「すること (ation)」からなり、「**再び適した状態にすること**」を意味する。
- 記述のとおりである。リハビリテーションの対象は、**視覚・聴覚・言語障害、肢体不自由、内部障害**の全てを含む。
- × 医学的リハビリテーションは、疾患の**急性期**から実施されることもある。特に**脳血管疾患**では、医師の指示のもと、できる限り早期から行うことで、後遺症の軽減につながっている。
- × 教育的リハビリテーションは、障害児を対象とした障害児教育以外に、**中途障害者**を対象として、更生援護施設、自立生活センターなどで実施されている。
- × 記述は、**職業リハビリテーション**の説明である。社会的リハビリテーションは、**社会生活力**を高めることを目的としたプロセスである。

心理学理論と心理的支援

問題8

正解 4 ●—マズローの欲求階層説

重要度 ★★

●マズローの欲求階層説は、生理的欲求から自己実現の欲求までの5つの段階によって構成される。各段階の内容を確実に理解することが重要である。

教科書(共) CHAPTER 2・SECTION 1

- × **生理的欲求**は、経験や学習から獲得されるものではなく、生命を維持するために必要な**本能的な欲求**である。
- × 最も基底にある欲求は、食欲、渇き、呼吸、睡眠などの**生理的欲求**である。安全の欲求は、その次の段階の欲求となる。
- × 承認・自尊の欲求とは、自分自身の価値を自己ではなく**他者**に認めてもらいたいと欲すことである。
- 欠乏欲求は、生理的欲求、安全の欲求、所属・愛情の欲求、承認・自尊の欲求をいう。これらの欲求は、何かが欠けていて満たせないことから生じるため、**欠乏欲求**といわれる。
- × 最上位の自己実現の欲求は、発達欲求ではなく、**成長欲求**である。

問題9

正解 5 ●—記憶

重要度 ★★★

●記憶のプロセスや分類を理解しておくことは、認知症や、記憶障害がある利用者の援助において重要である。

教科書(共) CHAPTER 2・SECTION 1

- × 子どものときの体験や生活史の再生のように、一定の時間的経過の後に思い出せる記憶は、**長期記憶**である。
- × 学習したり、覚え込むことは、記憶の段階の**記銘**である。記憶は、**記銘、保持、想起**という3つのプロセスで成り立つ。
- × 手続き記憶は、繰り返し練習するなどして習得した、**技術や技能**についての記憶である。記述は、**意味記憶**の説明である。
- × 記憶を時間的な経過で分類すると**短期記憶**と**長期記憶**に分類される。言葉で伝えられるかどうかで分類すると、言葉で伝えられる記憶が**陳述記憶**、言葉で伝えられない記憶が**非陳述記憶**である。
- 本日の昼食のメニューなど、自分に起こった出来事に関する記憶を、**エピソード記憶**という。